

株式会社キャップ

静岡県周智郡森町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

新素材による世界最軽量・高強度なパーツを提供するためオリジナル技術により分野を超えた多方面へ技術提案を行っている

- 成形性を最適化した金型設計を行い、独自製造システムにより金型加工機の月間稼働 400 時間以上を達成
- インドネシアと韓国に現地法人を設立、コスト低減・納期短縮に対応した生産体制を構築
- 次世代の商品製造技術を独自開発して日米欧で特許権取得し、軽量部品を開発している

企業基本情報

所在地	静岡県周智郡森町中川 2022 番地の 2
電話/FAX	0538-49-1181/0538-49-0075
URL	Http://www.cap-inc.co.jp
代表者	代表取締役 高井 三男
設立	1990 年
資本金	3,000 万円
従業員数	27 人



会社概要

射出成形用金型の設計製作を主力に、近年では、独自に開発したヒートアンドクール金型技術を用いた熱可塑性複合材料の成形技術により、分野を超えた多方面への技術提案を行っている。

創業 25 年、従業員約 30 名の企業ながら、サポイン事業 2 件をはじめとする補助事業を活用して、新規事業の育成に努力している。また、海外 2 カ国で事業を展開している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 金型加工機の自動運転を実現する独自の生産システム

創業当時からデジタルファクトリー化に取り組んでいる。ロボットによるワークの無人交換や、加工データをスケジュール管理して工作機械に送るシステムを構築している。このことで、昼間は段取り作業を行い、夜間休日に設備が無人稼働する自動化工場になっている。このシステムにより加工機の月間稼働時間は 400 ~ 600 時間を達成している。また、機械加工工場の温度管理や、CAM システムと NC シミュレーション技術の活用などにより付加価値の高い精密加工を実現している。



月間 600 時間稼働する形状加工機

▶▶▶ インドネシアと韓国に独資金型工場に進出

2 億 4000 万人の人口を有し、人口ボーナス期にあるインドネシアに独資現地法人を創業し 5 年経過した。日系自動車メーカー 6 社が現地生産しており、将来大きな金型市場が期待できる。また、韓国や中国メーカーへの外注を含めた各工程の業務の最適化によって、納期短縮・コスト削減を図り、競争力を確保している。

- ・ PT.CAP Mold Engineering Indonesia (インドネシア)
- ・ CAP KOREA CO.,LTD (韓国)



インドネシア現地法人 PT CAP Mold

▶▶▶ 炭素繊維複合材の製造技術を自動車メーカー等と共同開発

日米欧で特許権を取得したヒートアンドクール金型技術を使って炭素繊維強化樹脂の成形技術を開発している。自動車メーカー各社を始め自動車のティア 1、重工メーカー、炭素繊維メーカー、樹脂メーカーなどと協力関係にある。特に次世代の軽量化技術として期待される熱可塑性 CFRP に関して、射出成形や熱プレス成形、圧縮成形など様々な成形技術の開発に取り組んでおり、この分野では国内トップレベル。



自動車部品メーカーと共同開発中の部品